

産業技術総合研究所 自己評価検証委員会  
情報・人間工学領域分科会 議事要旨

1. 日時：令和3年3月22日（月） 13：10～15：40

2. 場所：Web会議による開催

3. 議事概要

(1) 領域の概要とマネジメント 情報・人間工学領域 領域長 関口 智嗣

➤ 資料に基づき、領域のマネジメントについて説明が行われた。

(2) 社会課題の解決に向けて全所的に取り組む研究開発

(質疑・意見交換のみ 1課題あたり10分)

○生活に溶け込む先端技術を活用した次世代ヘルスケアサービスに資する技術の開発

次世代ヘルスケアサービス研究ラボ 研究ラボ長 小峰 秀彦

➤ 資料に基づき、研究領域より詳細説明が行われた。その後、血圧計測デバイス開発やデータセットの活用戦略などについて質疑応答を行った。

○全ての産業分野での労働生産性の向上と技能の継承・高度化に資する技術の開発

インダストリアル CPS 研究センター 研究センター長 長谷川 民生

➤ 資料に基づき、研究領域より詳細説明が行われた。その後、サイバーフィジカルシステムなどについて質疑応答を行った。

(3) 経済成長・産業競争力の強化に向けて各領域で重点的に取り組む研究開発

(質疑・意見交換のみ 1課題あたり10分)

○人間中心のAI社会を実現する人工知能技術の開発

人工知能研究センター 研究センター長 辻井 潤一

➤ 資料に基づき、研究領域より詳細説明が行われた。その後、AI技術の活用戦略などについて質疑応答を行った。

○産業や社会システムの高度化に資するサイバーフィジカルシステム技術の開発

人間拡張研究センター 研究センター長 持丸 正明

サイバーフィジカルセキュリティ研究センター 研究センター長 松本 勉

➤ 資料に基づき、研究領域より詳細説明が行われた。その後、光パッケージ技術や異種材料接合などについて質疑応答を行った。

○ライフ・スペースを拡大するモビリティ技術の開発

ヒューマンモビリティ研究センター 研究センター長 北崎 智之

- 資料に基づき、研究領域より詳細説明が行われた。その後、開発したサーメットの実装検討や部材のライセンス戦略などについて質疑応答を行った。

(4) イノベーション・エコシステムを支える基盤整備

(質疑・意見交換のみ 1 課題あたり 10 分)

○データ連携基盤の整備

産総研・東工大 実社会ビッグデータ活用 オープンイノベーションラボ ラボ長  
小川 宏高

- 資料に基づき、研究領域より詳細説明が行われた。その後、ウイルスの高速センシング、フレキシブルセンサなどについて質疑応答を行った。

○デジタル・サービスに関する標準化

デジタルアーキテクチャ推進センター センター長 岸本 光弘  
人間・情報インタラクション研究部門 研究部門長 佐藤 洋

- 資料に基づき、研究領域より詳細説明が行われた。その後、量子アニーリングマシンの動作実証や社会実装などについて質疑応答を行った。

(5) 全体質疑

- 全体の質疑応答を行った。

(6) 委員討議

- 委員による討議が行われた。

(7) 主査からの講評

- 主査から講評が行われた。領域全体として高いレベルの研究を行っていること、カギとなる概念には、多様な解釈を避けるため、説明を付けることを心がけてほしいこと、技術の社会倫理的側面にも配慮した取り組みに期待することなどについて言及があった。

4. 分科会委員 (敬称略、委員五十音順)

原山 優子 国立研究開発法人理化学研究所 理事 (分科会主査)

芳賀 繁 株式会社 社会安全研究所 技術顧問

岩下 直行 京都大学 公共政策大学院 教授